

■ 共創カアアップ・プログラム「動画配信講座」の目的

東京ホームタウンプロジェクト「共創カアアップ・プログラム」とは

各地域でコーディネート役を担う都内区市町村や社会福祉協議会、地域包括支援センター向けに、地域包括ケアにおける地域づくりの実践を支援します。プログラムの成果として動画配信講座を制作しました。

動画配信講座の目的

自治体や社協、包括、協議体のメンバー（NPO、町会、自治会など）の皆様が地域づくりに関する意識や情報を共有し、地域包括ケアにおける地域づくりを効果的に進められるようにすることを目的としています。

そのために、

- 地域づくりを実践するための知見やノウハウを学べるようにしました。
- 同日に参加できない担当者が時間や場所を選ばずに学べるようにしました。
- 担当者が異動や交代に関わらず同じ情報が取得できるようにしました。

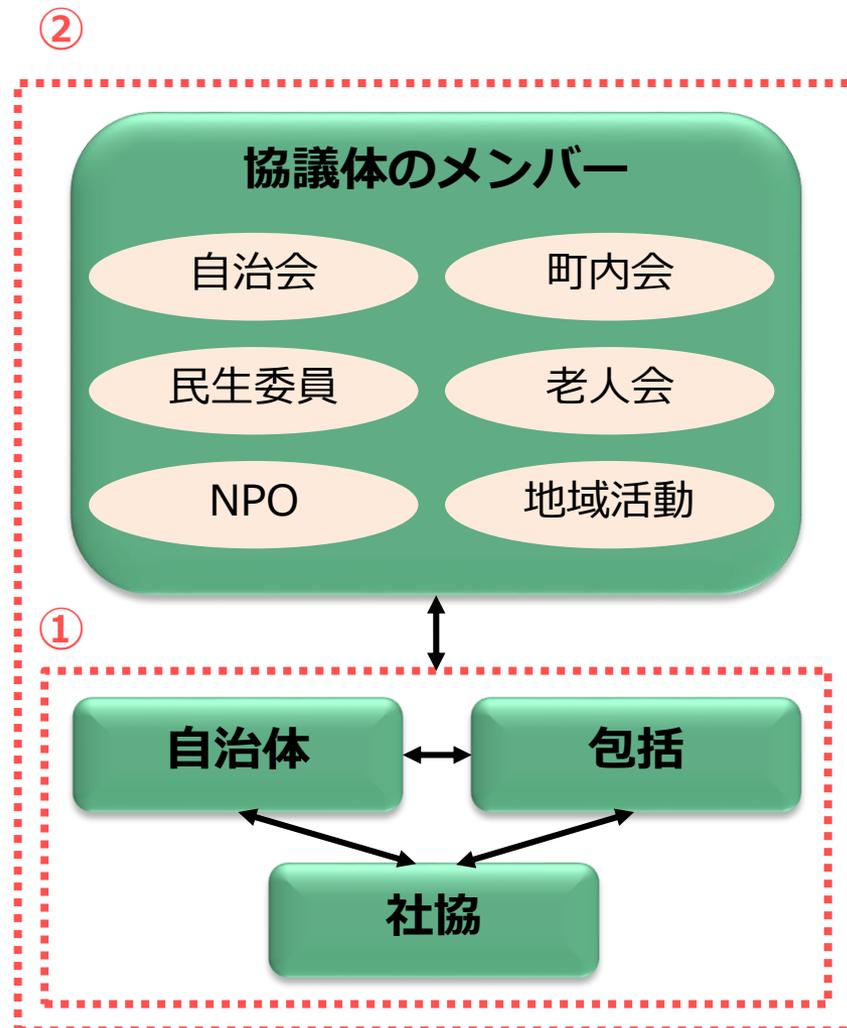
■ 動画配信講座の活用方法（例）

動画配信講座は、以下に例示する目的のどちらかで活用いただくことを推奨します。

①自治体、社協、包括が地域づくりに
関する意識や情報を共有する

↓さらに進んで

②協議体のメンバーとの間で地域
づくりに関する意識や情報を共有する



①自治体、社協、包括が地域づくりに関する意識や情報を共有する

対象

以下に該当する**都内区市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター**の職員の方

- ✓ 地域包括ケアにおける地域づくりを担当することになったが、**まず何から始めたらよいかわからない**とお悩みの方
- ✓ **地域の関係機関の間で良い関係がなかなか作れない**という方、例えば、
 - 地域づくりの考え方や具体的な進め方がかみ合わない、意識や情報を共有したい
 - 共通の目標を持って活動できていない、どう連携し地域へ働きかけのかがわからない

活用方法 (例)

- ✓ **個人単位で視聴、関係機関が集まって視聴のどちらでも構いません**
- ✓ **6本の動画すべての視聴を推奨**します（必要に応じて前半3本のみの視聴としても構いません）

✓ 動画を使った地域づくりの進め方（例）

◎解決したい地域課題：

関係機関が各々の立場で取組みを行っており、**共通の目標を持って活動できていない**

◎目指す成果：**関係機関が共同して行う取組みをつくる**

[ステップ1] 動画配信講座を視聴し、気づき・学びを共有する

- ・各機関の地域づくり担当者やその上司の方が、個人単位で視聴する
- ・視聴した方々が集まり、講座の感想や気づいたこと、取り入れたいことなどを共有する

[ステップ2] 関係機関が共通して考える課題を絞り込む

- ・ステップ1の参加者が集まり、ワークショップ形式で地域の課題を洗い出し、「誰の」「どんな」課題かを整理する
- ・挙がった課題の中から、関係機関が共同して取り組む課題を1つ決める

[ステップ3] ステップ2の課題の解決に向けて共同して行う取組みを決める

（例：イベントへの合同ブースの出展、有望な地域団体とのコラボイベントの開催）



②協議体のメンバーとの間で地域づくりに関する意識や情報を共有する

対象

都内区市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センターの職員、またはNPO、町会、自治会など協議体に参画する団体で、お互いに良い関係がなかなか作れないとお考えの方
例えば、

- ✓ 地域づくりの考え方や具体的な進め方がかみ合わない、意識や情報を共有したい
- ✓ 協議体の目的や役割（結論を出す場か相互理解を深める場か、協議体の場でどこまで結論を出すのかなど）が共有されていない
- ✓ 協議体では住民の意見を聴くだけ、住民が主体的に動く場づくりができていない

活用方法 (例)

- ✓ 協議体の場で、関係機関が集まって視聴することをお勧めします
- ✓ 前半3本だけの視聴を推奨します

- ✓ 動画を使った地域づくりの進め方（例）

◎解決したい地域課題：住民が主体的に動く場づくりができていない

◎目指す成果：協議体のメンバーが自発的に取組みを進めるチームをつくる

[ステップ1] 動画配信講座を視聴し、気づき・学びを共有する

[ステップ2] 地域の課題や目指す姿を整理し、関係機関が共通して考える課題を絞り込む

[ステップ3] ステップ2の課題の解決に向けて行う取組みを決める

[ステップ4] 協議体のメンバーに立候補してもらい、取組みを進めるチームをつくる

(例：イベントの企画・運営チームのメンバーを募集する。取組みのアイデアがある方に立候補してもらいプレゼンを実施、一緒に進めるチームメンバーを募集する。)

